



SAPOSEN

ふくしま地域活動団体サポートセンター

ふくしま地域活動団体サポートセンター
ニュースレター Vol.3 2014.10.27 発行



応急仮設住宅の女性から四葉のクローバーを
受け取る大学生たち

～表紙に寄せて～

言葉を越えた励ましの絆

アメリカ合衆国オクラホマ州タルサ市の大学生たちが、被災地支援のボランティアで訪れた応急仮設住宅で、ひとりの女性から四葉のクローバーを受け取りました。言葉は通じなくても伝わる「ありがとう」の気持ちは、学生たちを笑顔にさせました。

国内外を問わず、災害支援、ボランティアの受け入れやサポートをしているのは、いわき市平で活動する、特定非営利活動法人Global Mission Japan（グローバル・ミッション・ジャパン）です。東日本大震災での津波と福島第一原発事故をきっかけに支援活動をはじめ、平成24年7月にNPO法人の認証を受けました。

毎年グループ編成で海外の学生たちが仮設住宅を訪れたり、田んぼのお手伝いなどの農業支援をおこなっています。また、海外の体育教師グループとプロサッカーコーチが子どもたちとスポーツをとおして交流を深めるなど、幅広く支援活動をしてきました。

震災後、40ヶ国からボランティアを受け入れてきた実績は「ふくしま」を世界に発信し続ける原動力です。これからも言葉の壁を越えた絆が続いていくことを願っています。

Contents

●復興のチカラ～ Pick up NPO ～	2
●ふくしま情報RUN 一つながる・ひろがる情報ひろば（機関紙版）	3
●【特集】復興の旅	4-5
●スタッフ 見・聞・録	6
●チャレンジ！助成金情報	7
●メッセージF～リレーコラム～	8
●新たに認証を受けたNPO団体	8
●学びへの一冊	8
●編集後記	8



復興のチカラ～Pick up NPO～

■NPO法人みらいと

～自分たちの町は自分たちでつくる～

平成24年7月17日認証

新地町

「NPO法人みらいと」とは

新地町では、東日本大震災で、震度6強の強い揺れと大津波により、町の面積の約5分の1が浸水被害を受けるなど甚大な被害を受けました。さらには、原発事故による子育て世代の他地域への転出など、震災を契機として、少子高齢化、過疎化など、将来への不安がより深刻化しています。

厳しい現状のなか、「自分たちの町は自分たちでつくる」という決意のもと、お互いの意識を高め、教育・文化・スポーツ・福祉・環境・観光などの多方面において、住民参加のまちづくりへ裾野を広げる目的で「NPO法人みらいと」は設立されました。



▲みらいの新地町のアイデアです！！

「活動について」

現在、みらいとでは、新地町の未来を担う子どもたちとのイベントに力を入れています。座禅・写経・紙芝居・昔遊びなど、日本の文化にふれる

内容の「こども座談会」が好評です。子どもたちの「遊ぶ力」を育て、「人と関わる力」を培うことが期待されます。

また「新地町に若者が集まる『〇〇』をつくらう！作戦会議」では、ワークショップをとおして出されたアイデアを未来のまちづくりに活かしてほしいと行政へ報告をしています。

「みらいと」の由来は

「未来人」「未来都」「Me Light」「未来Together」です。新地町の復興、そして将来に向けて活動し、子どもたちに誇れる「未来」を残すことです。

福島県地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）として、今年から本格的に実施される集団移転や高台移転、公営住宅へ入居の際のコミュニティづくりにもサポート活動をおこなう予定です。



▲座禅のころは…？

■特定非営利活動法人 ふくしま飛行協会

～地上と大空を結ぶ航空公園をめざして～

平成15年5月28日認証

福島市

現在、特定非営利活動法人ふくしま飛行協会は、ふくしまスカイパークを中心拠点として、多方面での活動をおこなっています。セスナ機やアクロバット専用機を常時備える展示場内では、迫力満点の飛行機が間近で見ることができます。

「復興支援基地」

東日本震災を契機として、福島県警航空隊、消防防災ヘリコプターや陸上自衛隊通信機器の輸送訓練、連携基地として活用されており、県北地域の安心安全の防災拠点として大きな役割を担っています。

大震災の時には、アクセス道路の除雪や滑走路の補修など早急に受け入れ体制を整えました。フライトサービスだけではなく、給油や物資の積み込みなどのサポート活動をおこない、人員や物資の輸送や被災地の現況を伝える無人機の離発着基地、救援機の支援基地とし



▲ふくしまの空に注目！！

て大きな役割を發揮しました。

同年のこどもの日には、避難生活を余儀なくされた子どもたちを招待し、紙ひこうきづくりやセスナ機のコックピット搭乗など「飛行機」をキーワードにしたさまざまな支援活動は、子どもたちにとって大きな思い出です。



▲元気イベントのひとコマ！！

「航空スポーツを通して国際交流」

「スカイスports国際フェスティバル・りんご祭」や多くの県民が福島空に注目した「みんなで大空を見上げよう！AGAIN」プロジェクトを実現させるなど、スイス、韓国との国際交流を深めています。平成26年8月には、長年の航空スポーツの普及活動、人材の育成等の実績により国際航空連盟から「エア・スポーツ・メダル」を受賞しています。復興へと向かうなか、今後も地域経済の一翼を担うことが期待されます。



ふくしま情報 RUN

—つながる・ひろがる情報ひろば—

機関紙版

■企画企業

「児童の健全な成長のための支援・助成事業」

公益財団法人ヨークベニマル文化教育事业財団では、1985年の設立以来、主な事業として、福島県内の高校生を毎年海外研修に派遣しています。

また、国際交流以外には、遊びや運動、心のケアを通じて児童の健全な成長を支援する事業、食育を通じて児童の健全な成長を支援する事業があります。

2014年7月には「児童の健全な成長のための支援・助成事業」の対象となる5団体への助成金の贈呈式がおこなわれました。

「福島県内の児童のための活動をおこなっていること」「特定の団体や人への事業資金の偏りがいないこと」が審査のポイントです。

対象団体や事業について、財団事務局にお聞きしました。申込み団体については、震災により外で遊ぶことができなかった子どもたち、またそのお母さんたちが関わる支援活動をしている団体が多くみられました。「財団として、この事業で福島県の子どもたちが、元気に成長できるような手助けができればよいと考えています。」と、財団事務局は本事業に期待を込めています。

◇助成先団体

【平成25年度】

認定NPO法人 フロンティア南相馬

NPO法人

福島子どもこのころと未来を育む会

NPO法人

子育て支援コミュニティ プチママン

NPO法人 リンク

ふくしま子育て支援ネットワーク



▲平成25年度の助成金贈呈式

企業との連携でNPOが強くなる！

「プロボノTOふくしま2014報告共有会」参加報告

7月26日、二本松市で「プロボノTOふくしま2014報告共有会」が開催されました。これは、パナソニック株式会社が県内のNPO団体などへおこなったプロボノ（業務の経験や専門知識を活かしたボランティア活動）の成果を報告するというものです。社員の皆さんは、およそ1か月前から各団体へ足を運び、その団体がかかえる悩みや課題（広報物の作成や団体の



▲パナソニック社員の皆さんによる報告の様子

■活動団体

～（公財）ヨークベニマル文化教育事业財団の助成を受けて～

特定非営利活動法人

子育て支援コミュニティプチママン（郡山市）

活動歴：平成17年6月 子育て中の親が心豊かに暮らせる地域社会を目指して団体を設立。

平成18年2月 NPO法人の認証を受け、「特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティプチママン」として活動を続ける。

プチママンスタッフが各会場へ出張する「移動ひろば」は、音楽をとおして想像力や表現力を養い、心と体の調和をつくるリトミックをはじめ、ごっこ遊び・体操・料理教室など、親子が楽しく集い遊ぶ機会をつくり、子育て中の親が抱える不安を解消できる環境づくりを目的としています。

これまで郡山市から「子育て移動サロン」を受託し、民営の子育て支援拠点の先駆けとして5年間実施してきました。今回、ヨークベニマル文化教育事业財団の助成を受け、その経験から、オリジナルの「移動ひろば」としての活動を続けています。

常設の子育てひろばでは、発達に不安のあるお子さんの相談も積極的に受けており、8月の移動ひろばでは、行政の協力も得て、医療ケアの必要なお子さんも一緒に参加することができました。

フランス語で「親子」を意味する「プチママン」。子育て中の親も子もいきいきと心豊かに過ごせる地域社会の実現を目指しています。



▲親子で楽しく！「おやこシアター」の様子

活動整理など）へ企業の目線からアイデアを提供しました。団体の皆さんからは「自分たちの活動を知ってもらうためのコツを教えてください」などの感想があげられました。企業からの継続的な支援は今後も重要であると言えます。当センターも企業との連携を図り、各団体へのよりよいサポートへ結んでいきたいと思ひます。

（ふくしま地域活動団体サポートセンター／小林紀子）

共 催：パナソニック株式会社、特定非営利活動法人サービス

プラント、一般社団法人ふくしま連携復興センター

開催日：平成26年7月26日

会 場：二本松市民交流センター 第2会議室（二本松市）

海興の旅

復 興
ふっ こう

● F U K K O ▶

希望 福 島 未来
Kibo Fuku shima Mira

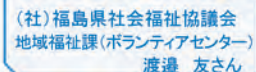
復興庁 福島復興局



復興庁では、ボランティア活動の果たしている役割は大きいことから、NPOやボランティア団体等の活動を支援するため、「新しい東北」先導モデル事業など財政支援に関する情報提供等を実施しています。

【復興庁HP】NPO・公益法人等の皆様へ(財政支援、取組事例等)
http://www.reconstruction.go.jp/topics/npo_3.html

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会



NPOと社協が連携することによってできること、活動の幅が広がることが必ずあるはずです。

まずは、お互いの顔が見える関係をつくっていただきたいと思います。そして、NPOと社協がお互いの強みを活かし、これまで以上に協力し合いながら復興支援に取り組んでいきましょう！

第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま
2015年11月21日(土)～22日(日)
福島県郡山市/ビッグパレットふくしま 他
<https://www.facebook.com/volufesfukushima>

一般社団法人 ふくしま連携復興センター



復興に向けた課題は地域・分野ごとに様々に複雑です。私たちが未来に向かうために「今、必要なことは何か」を見極めるには、各地で尽力されている市民活動団体と中間支援センターとが連携を深め、広い視野で情報を整理することがますます重要になっていきます。

ふくしまの今とつながる相談室「toiro」
毎週月曜・水曜・金曜（祝祭日除く）10時～17時
<http://f-renpuku.org/toiro>

キーワード説明

- 連携…市民相互、市民団体相互のパートナーシップ ○協働…NPOや市民と自治体とのパートナーシップ
○サポート…支援。ここでは市民活動やNPOへの「場」「ひと」「情報」などの支援を表しています。
○JCJN…東日本大震災支援全国ネットワーク ○JPFF…認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム
○RCF…一般社団法人RCF復興支援チーム ○連復…一般社団法人ふくしま連携復興センター
○みんなく…NPO法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会

皆さんは、どのホームに
立っていますか？



復興のみちの駅

復興支援に関する取り組みの一部です。
 気になる「復興のみちの駅」へ立ち寄ってみましょう。
 ※詳しくは各ホームページをご覧ください。

 「新しい東北」先導モデル事業＜復興庁＞

被災地での先導的な取り組みを育て、被災地での横展開を進め、東北や日本のモデルとしていくために先導的な取り組みを幅広く公募し、支援する事業。

 WORK FOR 東北 <復興庁>

被災地が必要とする人材を企業などから現地に派遣することを目的としたプロジェクト（マッチングの実施、関係情報の共有・発信）。

 復興支援員＜総務省＞

被災地の見守りやケア、地域おこし活動の支援等の「復興に伴う地域協力活動」を通じ、コミュニティ再構築を図る取り組み。現在では60数名の支援員が地域の復興に向けて県内外で活動している。

 地域づくり総合支援事業＜福島県＞
(ふるさと・きずな維持・再生支援事業)

福島県の復興等に向け、NPO法人等(民間非営利組織または協議体)がおこなう取り組み。NPO法人等の人材育成やネットワーク形成に資するものに対して、補助金を交付し、県のきずなの維持・再生を図る。

 イノベーション東北<Google他>

インターネットの力で東北のビジネスとコミュニティの復興を支援する活動で、Googleが中心となり、パートナー企業や団体、地元根ざしたコーディネーター、個人サポーターなどととも復興の加速を目指すもの。

 右腕派遣プログラム＜NPO法人ETIC＞

被災地の復興に向けた事業・プロジェクトに取り組むリーダーのもとに、その「右腕」となる有能かつ意欲ある若手人材を被災地に派遣する取り組み。

ぜひ、ご参加を！

地方共助社会づくり懇談会 in福島

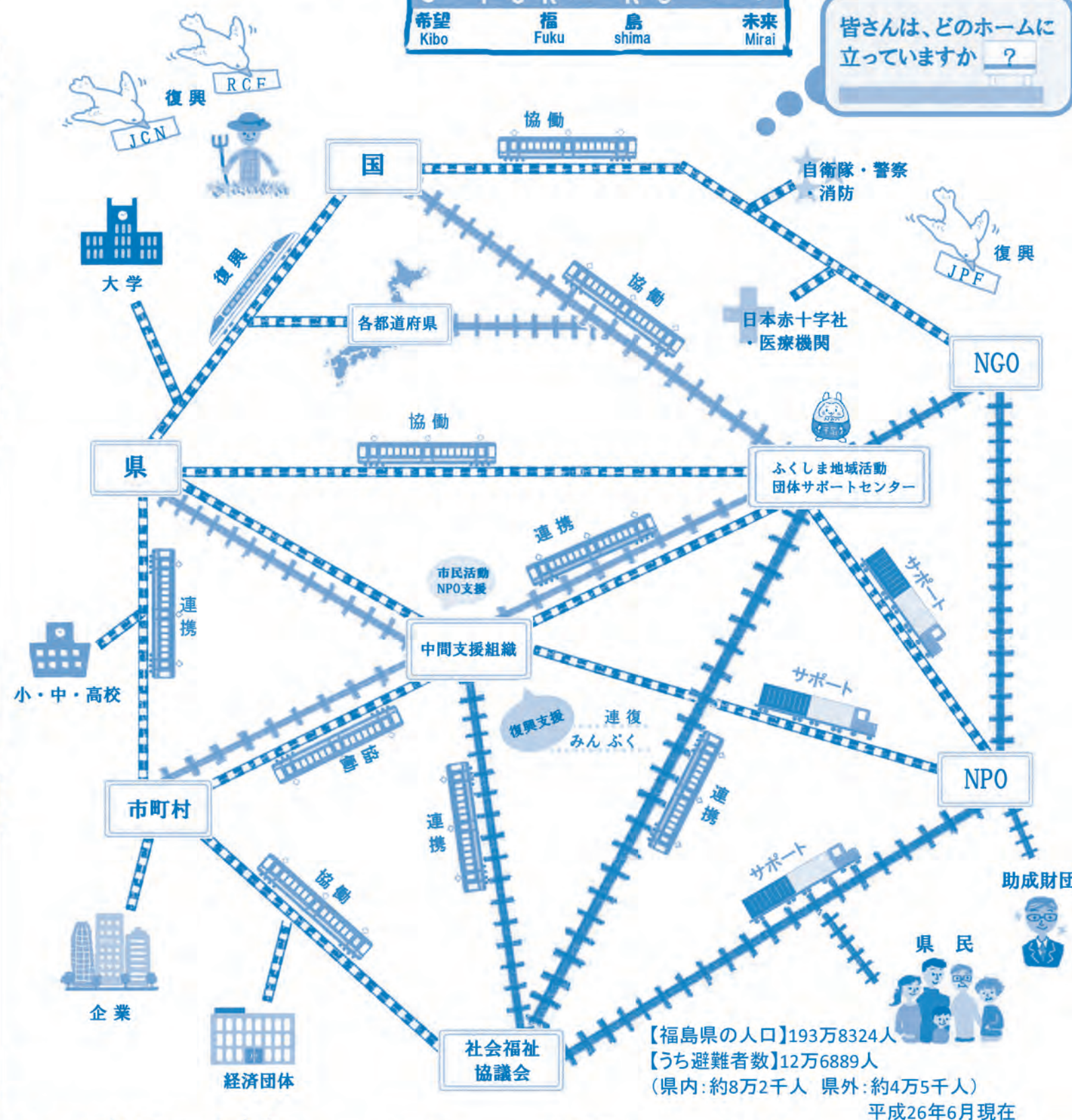
～福島の復興に向けた市民活動の動向～

日時:11月8日(土)13時30分～16時10分

会場:コラッセふくしま 多目的ホール(福島市)

主催：内閣府・福島県・認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター

※詳細はHPにて！【<http://www.f-saposen.jp>】





スタッフ

見・聞・録

●福島初！助成財団シンポジウムin福島

助成金の基礎を知り、上手に活用してもらうことを目的としたこのシンポジウムには、県内外の助成財団、中間支援センター、一般受講者など関係者を含め130名の参加があり、関心の高さが伺えました。

NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の松原明代表理事からは、各団体の課題に対しての「解決策」「成果」「長期的展望」が大事であり、助成金によって何がどう変わるのかを伝えるなど、申請時のアドバイスをいただきました。参加者からの「申請書には数値目標がある方がいいのか？」という助成財団への質問には「〇名、〇件」など団体の目標を明記してある方が判断材料になるとの回答でした。



▲多くの参加者でにぎわう会場

後半の名刺交換会では、助成財団ごとのブースに参加者が相談も交えながら熱心に交流をしていました。この場からまた、新たな協働が生まれていくことに期待が膨らんだ一日でした。

(ふくしま地域活動団体サポートセンター/渡辺 温子)

主 催：ふくしまNPOネットワークセンター/NPO支援財団研究会

協 力：福島県 福島市 助成財団センター

各中間支援センター ほか

開催日：平成26年9月6日

会場：福島市市民活動サポートセンター会議室

さまざまな支援事業やイベントなどを体験型レポートでお届けします。

●＜地域サポセン専門家派遣事業＞

いわき緊急サポートセンター

子育て支援スタッフ養成研修会

いわき緊急サポートセンターの「子育て支援スタッフ養成研修会」開催にあたり、当センターは心のケアに関する専門家派遣の依頼を受け、ケア宮城代表の畑山みさ子先生をお招きしました。研修会では「子どもの心の発達と支援者の関わりについて」をテーマに、震災後の子どもをとりまく環境や子育て支援に必要な3つのポイント「①親の子育て支援②親の心の支援③子どもの育ちの支援」等をお話いただきました。また、傾聴のワークショップでは参加者の皆さんが交流する和やかな時間となりました。畑山先生の「子どもの心は人間関係のなかで育つ」という言葉が印象的で、地域で支援活動をする心得も学ぶことができ、大変有意義な研修会となりました。



▲傾聴のワークショップのようす

(ふくしま地域活動団体サポートセンター/小林 紀子)

主 催：特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター

開催日：平成26年9月15日

会 場：いわき市総合保健福祉センター 多目的ホール

(いわき市)



情報ライン

中間支援サポートセンター情報掲示板

Support Center Information

南相馬市

うままつり

ドキュメンタリー映画、トーキー映画、アニメーション屋台がです。乗馬体験もできます。

○日 時：11月15日(土)、16日(日) 10時～16時
(但し土曜日は上映が20時まで)

○場 所：朝日座

○参加費：無料

○お問合せ先：南相馬市市民活動サポートセンター

○TEL/FAX：0244-23-5420

○主 催：「はま なか あいづ」

福島市

～新規支援者獲得のヒント～

さまざまな手法を活用したファンドレイジング(資金調達)

映画に関連付けた活動PRなど、さまざまなアイデアで取り組まれてきた講師を迎え、新規支援者獲得のヒントをテーマに、ファンドレイジングを学びます。

○日 時：12月13日(土)13時30分～15時30分

○場 所：福島市市民活動サポートセンター(会議室)

○参加費：無料

○定 員：30名

○対象者：市民活動・NPOで活動しているスタッフ・理事

○講 師：谷口 玲子 氏(元公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 ファンドレイジング担当)

○お問合せ先：福島市市民活動サポートセンター

○TEL：024-526-4533 ○FAX：024-526-4560

福島市

～共感をえることのできる広報のコツ～

広報講座 ～広報のコツ～

実践向けに、テーマにそってワークショップ形式で手づくりのポップやチラシ等をグループで単位で作成します。楽しみながら広報のコツを学んでください。手づくりでできる効果的な広報がきっと見つかるはずですよ。

○日 時：12月20日(土)13時30分～15時30分

○場 所：福島市市民活動サポートセンター(会議室)

○参加費：500円(資料代、お茶・菓子代)

○定 員：30名

○対象者：NPOに携わったばかりのスタッフ・理事

NPOの設立を考えている市民

○講 師：タカラ印刷株式会社 伝わるデザイン研究室

林 善克氏

○お問合せ先：福島市市民活動サポートセンター

○TEL：024-526-4533 ○FAX：024-526-4560

ふくしま地域活動団体サポートセンターより講座のご案内

参加無料 NPO 法人等活動基盤整備事業

ファンドレイジング&広報講座

11月27日(木)<福島市>コラッセふくしま

11月28日(金)<南相馬市>南相馬市民情報交流センター

12月11日(木)<郡山市>ビッグアイ

12月12日(金)<会津若松市>生涯学習総合センター【倉津稲古堂】

※講座時間はすべて13時30分～16時30分です。

▶詳しくは、ふくしま地域活動団体サポートセンターのホームページ・チラシをご覧ください。お申込みはお早めに。

※HPもリニューアル！ぜひご覧ください。

詳しくはHPへ

<http://www.f-saposen.jp>

チャレンジ！助成金情報

これからでも間に合う助成金情報

これからでも申し込みできる助成金情報です。内容は抜粋していますので、詳細については、実施団体やホームページでご確認ください。

◆文化・芸術、国際協力活動支援

名称：支援元	文化の国際交流活動に対する助成 / (公財) 三井住友海上文化財団
対 象 事 業	被災地域における文化の振興のため、音楽・郷土芸能の分野で、有意義な国際交流活動
申 込 期 間	2014年10月1日～11月30日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：500,000円
参 考 U R L	http://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/assist/index.html

◆子どもの健全育成支援

名称：支援元	「きれいな川と暮らそう」基金 / (公財)日本河川協会
対 象 事 業	水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動
申 込 期 間	2014年7月7日～11月30日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：500,000円
参 考 U R L	http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/index.htm

◆災害・復興支援

名称：支援元	東北ろうきん復興支援助成金制度 / 東北労働金庫
対 象 事 業	東日本大震災からの復旧・復興・被災者支援
申 込 期 間	2014年10月1日～11月20日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：300,000円(10団体予定)
参 考 U R L	http://www.tohoku-rokin.or.jp

◆文化・芸術、スポーツ支援

名称：支援元	平成27年度(2015年度)助成(地域文化の振興) / (公財)三菱UFJ信託地域文化財団
対 象 事 業	永年地域文化の振興、とりわけ地域の音楽、美術、演劇、伝統芸能の各分野への活動
申 込 期 間	2014年8月1日～11月30日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：なし
参 考 U R L	http://mut-tiikibunkazaidan.or.jp/boshu.html

◆災害救援支援

名称：支援元	広域避難者地域活動サポート助成制度 / 中央労働金庫
対 象 事 業	関東1都7県に避難されている方々の団体、避難当事者を中心とした支援団体の行う活動(地域住民との交流、イベント開催費用等)
申 込 期 間	2014年6月～12月末
上 限 金 額	1件あたりの上限額：10万円(助成は1回のみ)
参 考 U R L	http://chuo.rokin.com/about/csr/tohoku_earthquake.html

◆保健・医療・福祉支援

名称：支援元	日母おぎゃー献金基金(什器・備品等助成金) / (公財)日母おぎゃー献金基金
対 象 事 業	施設・設備
申 込 期 間	2014年8月1日～11月30日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：500,000円
参 考 U R L	http://www.ogyaa.or.jp/achivements/subsidy02.html

◆その他

名称：支援元	①ふくしま元気市民活動助成金 / 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター ②ふくしまみんなのサポート市民活動助成金 / 福島銀行
対 象 事 業	①地域問題を解決しようと取り組む活動 ②高齢者を守る、子どもの教育を支える活動など、未来づくりに取り組む活動
申 込 期 間	2014年10月14日～11月14日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：①②ともに100,000円
参 考 U R L	http://f-npo.jp

文化・芸術、スポーツ、災害救援支援

名称：支援元	独立行政法人国際交流基金 / (公財)朝日新聞文化財団
対 象 事 業	音楽分野、美術分野、被災者支援
申 込 期 間	2014年4月1日～12月15日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：1,000,000円
参 考 U R L	http://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant01.html

◆まちづくり、災害救援支援

名称：支援元	平成27年度活動助成 / (公財)JR西日本あんしん社会財団
対 象 事 業	自主防災訓練、心肺蘇生法普及活動等または心のケアやリハビリテーション等に関する活動
申 込 期 間	2014年10月1日～11月17日
上 限 金 額	1件あたりの上限額：700,000円以下
参 考 U R L	http://www.jrw-relief-f.or.jp/aid/katsudo.html

◆環境保全、人権・平和支援

名称：支援元	大竹財団助成金 / (一財)大竹財団
対 象 事 業	平和、環境/資源エネルギー、人口/社会保障、国際協力等の公益、社会問題の解決に取り組む事業
申 込 期 間	随時募集
上 限 金 額	1件あたりの上限額：500,000円
参 考 U R L	http://www.ohdake-foundation.org/grant.html



メッセージF ～リレーコラム～

第3回：「協働の指針」を座右に
牧田 実（ふくしまNPOネットワークセンター常務理事）

「新・福島市協働のまちづくり推進指針」（2011）は、福島市における市民と行政の協働の原則を定めた指針である。この策定には、多くの市民や若手職員が参加し、ワークショップや意見交換を重ねたのみならず、提言書の文案を実際に書き上げたりもした。私はアドバイザーとして立ち会ったのだが、協働ネクスト会議と呼ばれたその活動そのものがすぐれた協働の実践でもあった。

「指針」では、協働を「市民と行政がよりよいまちづくりのために、対等な立場で協力して取り組むこと」と定義し、その目的を「市民だけでも、また行政だけでも実現できない、よりよいまちづくりを実現すること」にあると定め、そのルールを自律・対等・補完の原則として規定している。いささか手前味噌だが、平易で明快かつ厳格な指針たりえている。

協働の場面では、こうした「指針」（まちづくり基本条例や

市民と行政の「協働」について、識者の方からリレー形式でコラムをいただきました。福島のF、復興のF、ファイトのF…みなさんに思いのこもった「F」のメッセージをお届けします。

自治基本条例はいうまでもなく）が「基本法」として策定され、かつ座右にあって絶えず参照されることは重要な意味をもつ。実践が協働の名に値するのか、市民も行政もさまざまな局面で問い直すことにつながるからである。

福島市において、「指針」がそうした存在となりえていることを期待したい。

◆次回は…丹波 史紀 准教授

（福島大学・ふくしま連携復興センター代表理事）です。

Profile

牧田 実（福島大学人間発達文化学類教授）

1989年3月 名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程（単位取得退学）
・著書（共著）『地域自治の最前線—新潟県上越市の挑戦』（ナカニシヤ出版 2013）、『日本コミュニティ政策の検証—自治体内分権と地域自治へ向けて』（東信堂 2014）など多数。

新たに認証を受けたNPO団体

（平成26年8月1日～9月30日）

- NPO 法人体験型未来づくりネット……………（福島市）
- NPO 法人想いやり……………（須賀川市）
- NPO 法人光と水の研究所……………（二本松市）
- NPO 法人あすか……………（会津若松市）
- NPO 法人みんな共和国……………（南相馬市）
- NPO 法人フクシマから虹を……………（会津若松市）
- NPO 法人 KRC 学舎……………（郡山市）
- NPO 法人なごみ会……………（郡山市）
- NPO 法人はなわスポーツクラブ……………（塙町）
- NPO 法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム……………（いわき市）
- NPO 法人大熊町ふるさと応援隊……………（三春町）
- NPO 法人りょうぜん楽しもう会……………（伊達市）
- NPO 法人かしま元気スポーツクラブ……………（南相馬市）
- NPO 法人ふくしま活性化センター……………（福島市）
- NPO 法人 OYAKODO ふくしま……………（福島市）

【NPO 団体名の訂正とお詫び】

8月27日発行のニュースレター Vol.2 掲載

（誤）● NPO法人ハナマスの集い ⇒（正）● NPO法人ハナマスの集い
訂正するとともにお詫び申し上げます。

学びへの一冊

『市民力ライブラリー 市民協働の考え方・つくり方』

松下 啓一著

（萌書房、2009年）

協働の定義、背景、理論、内容、政策を豊富な事例で平易に論じる。協働のイロハを知るためにまず読まれるべき1冊。

【本の紹介者】

福島大学人間発達文化学類
牧田 実 教授



【福島県行政書士会総合相談センター】

解決☆ユキマサくん 暮らしの無料相談室。

相 談 日：毎週水曜日（年末年始・盆休み・祝日除く）10時～16時
電 話 相 談：024-924-1822 面談予約：024-942-0022
メール受付：adr-s@fukushima-gyosei.jp

【福島県社会保険労務士会】

年金・労働総合相談所～相談無料～

相 談 日：毎週水曜日 13時～17時
電話申込：024-526-2270（土日祝除く）9時～17時
FAX申込：024-534-5432（24時間受付）
ホームページ：http://fukushima-sr.jp

ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL：024-521-7333 FAX：024-523-2741

E-Mail：saposen@f-npo.jp

U R L：http://www.f-saposen.jp

- ◆県内の認証NPO法人団体：822団体 ◆仮認定NPO法人団体：1団体
- ◆認定NPO法人団体：10団体 ◆国税庁認定法人：1団体 平成26年9月30日現在

編集後記

Editor's note

台風の間、ようやく小さい秋、見つけた（星）

秋の夜長に開いた絵本は優しさに満ちていました。（美）

書店では新しい手帳が並んでいます。来年の予定は？（信）

7階事務所から季節の移り変わりを感じています（小）

さばしーがダングリに見える季節かな（温）

明日を信じサポセンを信じ共に歩んで行きましょう（邦）